

今しかできない「小さな大冒険」を



新緑の季節があつという間に過ぎ去り、いよいよ子供たちが待ちに待った夏休みがやってきます。

まとまった自由な時間がとれる夏休みは、普段の学校生活ではできない「特別な挑戦」にうってつけのチャンスです。とはいえ、最初から「立派な研究」や「高い目標」を掲げる必要はありません。大切なのは、日常から一歩踏み出し、「自分で決めて、最後までやり抜く」体験をすることです。

ある保護者の方のエピソードを紹介します。当時小学4年生だったお子さんが「夏休みの間に、一人で朝ごはんを3回作る」という目標を立てたそうです。最初は卵が焦げたり、準備に1時間以上かかったりとおぼつかない様子でしたが、親御さんはぐっと堪えて見守りました。3回目を終えたとき、お子さんは自信に満ちた表情で「明日の朝ごはんも僕が作ろうか。」と言ったそうです。この挑戦を通じて、お子さんは料理のスキルだけでなく、「やればできる」という自己肯定感と、家族の役に立てた喜びを学びました。これは、大人が先回りして手助けしては得られなかった宝物です。

「一日中、大好きな昆虫を観察する」「地域のボランティアに参加してみる」「分厚い小説を1冊読み切る」など、挑戦の形は子供によって様々です。子供が「やってみたい」と言ったとき、「危なくない環境」だけを整え、あとは一歩引いて見守ることが必要です。たとえ失敗に終わったとしても、その試行錯誤こそが子供を大きく成長させます。

この夏、子供たちが一回りも二回りも逞しくなって9月を迎える姿を、私たち教職員も楽しみにしています。ご家庭でも、ぜひお子さんの「小さな大冒険」への応援をよろしくお願いいたします。

(校長：開田 晃央)

目標に向かって全力を出し切った総合体育大会

6月中旬から9年生にとって最後の大会となる市総合体育大会が開催されました。

壮行会では、今まで先輩方の頑張りを見てきた5・6年の応援団が中心となり、凛々しいユニフォーム姿の選手たちを精一杯応援しました。大会を終え、職員室に大会結果を報告に来た9年生の姿には、それぞれの喜びや悔しさ、それぞれの想いが垣間見えました。全力を出し切った清々しい経験をし、次の目標をもつことができたように感じます。保護者の皆様には、ご支援・ご声援をいただきありがとうございました。



↑ 壮行会での応援の様子

【サッカー部】 市内第2位 ※中央地区大会出場
VS 大島中 2-0 勝利 VS 勝田二中 1-0 勝利
VS 勝田一中 3-0 勝利 VS 那珂湊中 0-2 惜敗

【野球部】
VS 田彦中 4-1 5 惜敗



【男子ソフトテニス部】
団体予選 VS 佐野中 0-3 惜敗 VS 大島中 2-1 勝利
団体決勝 VS 勝田中等 0-2 惜敗
順位決定戦 VS 佐野中 0-3 惜敗 VS 田彦中 1-2 惜敗
個人戦 2回戦進出 7ペア

【女子バレーボール部】
VS 大島中 0-2 惜敗 VS 勝田三中 0-2 惜敗
VS 那珂湊中 0-2 惜敗

【陸上・中央地区】 ※県大会出場
共通女子4×100mR 55秒17 第7位
共通女子走幅跳 4m19

【女子バスケットボール部】 市内第3位 ※中央地区大会出場
VS 田彦中 68-37 勝利
VS 勝田三中 90-28 勝利
VS 佐野中 45-51 惜敗
VS 勝田一中 70-36 勝利



【女子ソフトテニス部】
団体予選 VS 勝田二中 1-2 惜敗 VS 大島中 0-3 惜敗
個人戦 2回戦進出 6ペア

【柔道】 女子団体 市内第2位 ※中央地区大会進出
女子個人 市内第2位

【水泳・中央地区】
50m 男子自由形: 28秒61 1位
100m 男子自由形: 1分4秒24 2位
200m 男子背泳ぎ: 3分6秒26 6位
100m 女子背泳ぎ: 1分35秒04 4位
: 1分35秒89 6位



※7名が
12種目で
県大会出場

人権教室 6/23 7年生:題「リスペクトアザース」 6/30 4年生:題「プレゼント」

二人の講師を招いて、人権教室が実施されました。
「互いに認め合い、尊重するため」「だれとでも仲良くするため」に大切なことは何かということについて話し合い、一人一人が考えを深めることができました。



農家見学(ほしいも農家) 6/25 3年生

扇屋商店さんの協力を得て、ほしいもの作業工程として、選別・洗浄・切る・干す・保管等の仕方を見学してきました。
多くの工夫を発見することができました。

